

国内向けアンカーハンドリング・タグ・サプライ船

—あかつき—

150T BP Anchor Handling Tug Supply Vessel



設計本部 基本計画部、基本設計部
横浜事業所 鶴見工場

ンクの容量を増加した。燃料タンク配置は海洋汚染防止条約の燃料タンク保護規則を満足している。

これらにより本船では大型海洋構造物の長距離曳航が可能となっている。

1. はじめに

アンカーハンドリング・タグ・サプライ船 (AHTSV) とは、海洋石油掘削現場において石油掘削リグなどの海洋構造物を支援する作業船であり、主に次のような作業に従事する。

- ・係留用アンカー、チェーンの移動、設置 (Anchor Handling)
- ・海洋構造物の曳航 (Tug)
- ・海洋構造物への人員、資材の輸送 (Supply)
- ・消火活動

本船は、計 14 隻建造した当社開発 150t 型 AHTSV (MX-A150) をベースに改良された船型で、株式会社オフショア・ジャパン殿向けに 2016 年 3 月に横浜事業所鶴見工場にて引き渡された。以下に本船の特徴を紹介する。

2. 本船の特徴

元々MX-A150 は油田がある東南アジア、西アフリカ沖で操業を行う海外顧客をターゲットに開発した世界標準船型の AHTSV である。本船では、MX-A150 の基本能力を残しつつ、日本海域での海洋支援活動に適した独自のカスタマイズを行っている。

2.1 曳航能力の強化

ボラードプルは、深海でのアンカー引き上げ能力や海洋構造物曳航の能力を現し、AHTSV の能力を現す主要指標である。

本船は、最大出力 4,500kW の主機を 2 基と、2 基のノズル付き可変ピッチプロペラを装備しており、国内最大級の 150t のボラードプル能力を有している。

これに加えて本船は、大幅な区画変更を行い燃料タ

2.2 船室の拡充

本船の船員は原則として日本人である。また、日本近海では研究目的の海底掘削など、商用以外の海洋作業も多く、それを支援する本船には研究員などが乗船する機会も想定される。本船は、居住区を増設し MLC2006 に対応した個室を設けている。また、冬期の厳しい海象下で海洋作業に従事する船員や作業者のために浴槽を追加装備した。

2.3 日本人船員対応

本船では、可能な機器類には国内メーカを採用した。また、国内メーカでは対応できない主要機器については和文の取説を準備するなどの配慮をしている。

3. おわりに

本船は 2016 年の引き渡し後、高い位置保持能力を生かし地球深部探査船へのサポートなど、日本海域での様々な海洋支援作業に従事している。

また、2018 年 8 月には東京湾内で自力航行出来なくなった 30 万トン型 VLCC (全長 332.95m) を約 3 週間かけて中国の船山市まで単独で曳航した。国内最強 AHTSV の面目躍如である。

表 1 本船主要目

Table 1 Principal Particulars

全長	68.0 m
型幅	16.4 m
型深	7.2 m
計画喫水	5.2 m
載貨重量	約 2,500 t
総トン数	約 2,100
ボラードプル	150.6 t
船籍国	日本
船級	ABS